



Title	阪大法学 58巻 3・4号 目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2008, 58(3,4)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55245
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

目次

巻頭の辞	中尾敏充
会社法における事業譲渡と株主保護	山下眞弘
—— 判例・学説の再評価 ——	5
労働法における公法上の義務	小 篤典
—— 帝国の時代における移民問題と黄禍論 ——	35
—— マイノリティの同化に関する比較史研究のための予備的考察 ——	竹 中 浩
—— 契約自由の原則と新エネルギー法制をめぐる小論 ——	65
環境公益訴訟と行政訴訟の原告適格	棟 居 快 行
—— E U各国における展開 ——	87
核兵器のない世界のビジョン	大久保 規 子
環境訴訟と行政事件訴訟法三七条の二第一項の「損害の重大性」要件	103
	黒 澤 満
	127
	松 浦 寛
	153

環境法における政策手法の多様化……………	吉川 正史……………	171
ヨーロッパの平和を目指す欧州連合（EU）のゆくえ……………	シェラー・アンドレアス……………	197
—— 欧州憲法条約からリスボン条約へ ——		
試験評価に対する裁判所による統制……………	青田 テル子……………	219
海上交通行政における規制緩和に関する問題……………	藤本 昌志……………	249
—— 「貨物船R号 貨物船S号衝突事件」を基に ——		
フランスにおける行政契約締結過程統制……………	國井 義郎……………	271
—— 契約前仮命令訴訟を中心として ——		
行政機関の問題対応に関する一考察……………	澤田 知樹……………	295
—— DV問題をたつき台として ——		
イギリスにおける大臣行為規範の変容……………	田中 孝和……………	323
死因調査法制……………	折橋 洋介……………	347
—— 医事衛生行政と刑事手続の錯綜 ——		
村上武則教授 略歴・主要著作目録……………		371